

## 15. 学術委員会報告

学術委員会から日本数学会季期研究所 (MSJ-SI = Mathematical Society of Japan, Seasonal Institute) について報告いたします。

●2021 年度の第 14 回日本数学会季期研究所 (MSJ-SI) は、テーマを「New Aspects of Teichmüller Theory」、組織委員長を大鹿健一氏 (学習院大学) として、2022 年の Lecture series に引き続き、Conference が 2023 年 7 月 10 日～14 日に東京大学において開催されました。詳しくは、以下のサイトをご覧ください。

<https://sites.google.com/view/msj-si-teichmuller/home>

●2023 年度の第 16 回日本数学会季期研究所 (MSJ-SI) は、テーマを「楕円可積分系，表現論，超幾何函数 (Elliptic Integrable Systems, Representation Theory and Hypergeometric Functions)」，組織委員長を今野均氏 (東京海洋大学) として、School が 2023 年 7 月 26～28 日に東京海洋大学において、Workshop が 2023 年 7 月 31 日～8 月 4 日に東京大学において開催されました。詳しくは、以下のサイトをご覧ください。

<https://sites.google.com/view/msj-si-2023/home>

●2024 年度の第 17 回日本数学会季期研究所 (MSJ-SI) は、テーマを「多重ゼータ値の深化と広がり (Developments of multiple zeta values)」，組織委員長を金子昌信氏 (九州大学) として、連続講義が 2025 年 2 月 10 日から 15 日まで九州大学において、シンポジウムが 2025 年 2 月 17 日から 22 日まで近畿大学において開催される予定です。詳しくは、以下のサイトをご覧ください。

<https://sites.google.com/view/the17thmsj-si>

●2023 年 5 月末日が締切であった 2025 年度 MSJ-SI の公募に対し、1 件の応募がありました。決定までしばらくお待ちください。

●2026 年度 MSJ-SI テーマ公募について

2026 年度 MSJ-SI についてテーマ公募を開始します。締め切りは **2024 年 5 月 31 日** です。

MSJ-SI は、以下の特徴を持ちます。

- ・数学会から 200 万円の助成金が提供されます。
- ・東アジアの数学会の協力のもとで、韓国と台湾から限られた人数の大学院生・若手研究者が派遣されます。
- ・専門家向けの講演とともに、大学院生・若手研究者向け、あるいは周辺分野の研究者向けにサーベイ形式の講演を行って頂きます。

応募される方は、締切までに、研究集会のテーマ、提案理由、主要な講演者 (事前承諾不必要)、ダイバーシティに配慮した点を学術委員会委員長までお送りください。また、下記メールアドレスへの事前の問い合わせも歓迎いたします。

送付先：日本数学会学術委員会委員長  
河澄 響矢

電子メール：[kawazumi\(at\)ms.u-tokyo.ac.jp](mailto:kawazumi(at)ms.u-tokyo.ac.jp)

郵便：〒153-8914 東京都目黒区駒場 3-8-1  
東京大学大学院数理科学研究科

詳細については、本号に掲載の公募要領を参照して下さい。

(学術委員長 河澄響矢 記)